

# データを手軽にする裏ワザ!!

データが軽くなれば…入稿データを圧縮する時間、アップロードの時間などが格段に早くなり、お客様の作業効率が大幅に向上します。

## 裏ワザ1 Illustratorのデータを軽くする Ai

- Illustratorのファイルを「別名で保存」。  
[ファイル] → [別名で保存]
- 「ファイル形式：Adobe Illustrator(ai)」のままで保存。
- Illustrator オプションの設定  
デフォルトでチェックが入っている「PDF 互換ファイルを作成」  
「ICC プロファイルを埋め込む」のチェックを外します。  
「圧縮を使用」はチェックを入れたままでOKです。

データ容量が約半分に!!



この作業だけでデータの容量が約半分になりました。

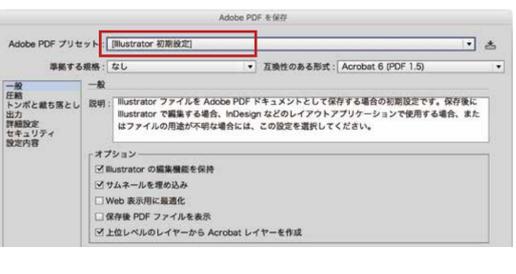


## 裏ワザ2 カンプ(PDF)のデータを軽くする Ai PDF

※入稿用のPDF/X-1aの説明ではありませんのでご注意ください。

カンプ（出力見本）をPDF形式で作る際にはプリセットから「最小ファイルサイズ」を選択して保存しましょう。「Illustrator初期設定」のままPDFを保存するとイラストレーターファイル(ai)よりもファイルが重くなってしまいます。

初期設定でPDFを保存するとaiファイルよりも重くなってしまいました。



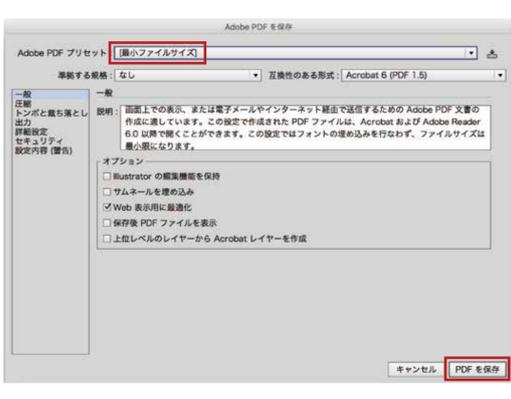
### PDFを最小ファイルサイズで保存する手順

- Illustrator のファイルを「別名で保存」する。  
[ファイル] → [別名で保存]
- 「ファイル形式：Adobe PDF(pdf)」を選択して保存する。
- Adobe PDF プリセットを  
[Illustrator 初期設定] → [最小ファイルサイズ] に変更して保存する。

初期設定よりデータの容量がかなり軽い!!



初期設定では重くなったPDFが最小ファイルサイズで保存するとかなり軽くなりました。



## 裏ワザ3 画像のデータを軽くする Ps

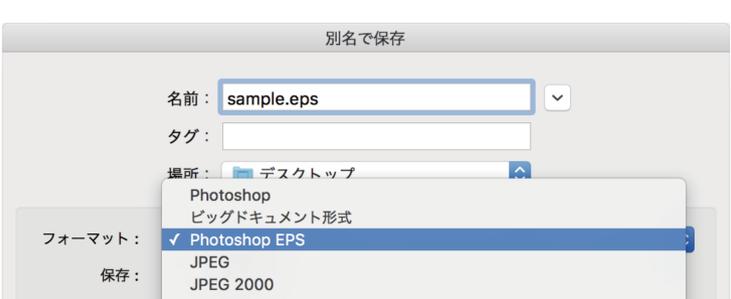
画像のデータを保存する際は「PhotoshopEPS形式」での保存を推奨しています。EPS形式は出力安定性の高い画像形式であり予期せぬトラブルを防ぐ事ができます。また、PSD形式やTIFF形式に比べてデータ容量も軽くなります。



※EPS形式では扱えない透明の背景などを使用している場合はPhotoshop形式 (.psd) で保存してください。その場合、表示レイヤーは全て結合して、非表示レイヤーやアルファチャンネルなどは削除してください。

### PhotoshopEPS形式の保存手順

- Photoshopで画像ファイルを「別名で保存」する。  
[ファイル] → [別名で保存]
- フォーマット：「Photoshop EPS」を選択する。



- 「カラープロファイルの埋め込み」：Japan Color 2001 Coated」のチェックを外す。

- EPSオプションの推奨設定  
下記の設定に合わせてください。



チェックを外すことでデータ容量が軽くなります。

### ▶エンコーディングは「JPEG-最高画質(低圧縮率)」がオススメ



Photoshop EPSオプションのエンコーディング:JPEGは、画像を圧縮して保存する形式です。EPS形式ながらもJPEG圧縮されるのでデータの容量が小さくなります。JPEG圧縮率は、最高画質(低圧縮率)に設定してください。バイナリ選択時と比べても、ほとんど画像の劣化なく保存することができます。エンコーディングは画像が圧縮されることのない「バイナリ」「ASCII」を選んでいただいても問題ありませんが、データの容量が大きくなってしまいます。